

Eコース 管理本部 Question & Answer



管理本部ってどんな部署？

管理本部は、営業本部（プロジェクト部,デザイン部）、生産管理本部（製作,美術,施工管理,劇場）と
並んで金井大道具の業務の三本柱のひとつを担う部署です。

経営管理、総務、人材育成の3グループで業務にあたっています。

経営管理グループは、財務・資金管理・経営管理に関する業務、

総務グループは、社員の勤怠や就業規則の管理・働く上で必要な諸手続きに関する業務、

人材育成グループは、社員の「こころとからだの健康管理」・採用・教育に関する業務、

を担い、会社組織全体を見守る管制塔の役割を果たしています。

舞台の裏方である大道具を、さらに裏から支える管理本部。

そんな「裏方の裏方」として管理本部で働く先輩たちに、就活生の皆さんの気になることを聞きました！

?

どのような人と一緒に働きたいですか？

- ・向上心、好奇心、協調性のある人。
- ・面倒なことにも前向きに、楽しもうという姿勢で取り組める人。
- ・自分自身と厳しく向き合い、人に対して思いやりを忘れない人。現場の喜びと苦勞を理解できる人。



今まで経験したことや自身の性格などで、現在の業務に活かしていると思うことはありますか？

- ・学生時代にサークルを立ち上げて、新たに物を興すことに魅力を感じた経験。人を喜ばせることが好きで、喜んでもらえる仕事をしたいと思う性格。
- ・高校時代に生徒会長を務めた経験。学校全体でひとつの目標に向かい、足並みをそろえて取り組むことに難しさを感じましたが、社会に出てからの人との向き合い方や悩んだときの解決のしかたなどのよい訓練になったと思います。
- ・知りたがりの性格と趣味が演劇であるということから、他部署の仕事に興味と関心を常に持つことができています。興味があるととても前向きに他部署の人と話すことができるので、業務にも活かしていると思います。
- ・大学の部活動で日本舞踊を習っていた経験があり、見るのも自分が踊るのも好きです。採用面接時や入社後も話のよいきっかけになりましたし、好きなものに関わる会社で働いていることが自分自身のやりがいに繋がっています。また、全社員向けの文書をつくったり、メールを送ったり、人に説明をしたりと言葉を組み立てる機会が多くある部署なので、大学時代に日本語日本文学科で学んだことが活かしていると思います。



現在の業務で、“難しい”または“大変”だと感じる部分はどんなところですか？

- ・人の「常識」はそれぞれなので、誰にでも分かりやすい話し方や文章を組み立てること。正解があることだけではないので、自分を信じて進んで失敗することや、それで周りに迷惑をかけてしまうこと。
- ・「会社」というものに深く関わる部署なので、社会の仕組みや制度、法律などの知識が必要になる 때가あります。学生時代には学んでこなかった、あるいは理解しきれていなかったことなので、学校を卒業しても勉強の連続です。
- ・ほぼ全ての部署と関わる仕事なので、社員の名前を覚えるのが大変です。他部署に行く時は、名前が分からない人が何人かいるので、いつもひやひやします。



それぞれのグループで業務の面白いところや、魅力、やりがいなどはどんなところですか？

【経営管理グループ】

会社の経営に直結する資料作成や会議（収支や事業計画など）に関われること。会社で働く一人ひとりに関わる内容ですが、社員が経営資料などを身近に感じられる機会は多くないように思います。だからこそ、分かりやすく社内周知するなど、一人ひとりと向き合って丁寧なサポートをすることにやりがいを感じます。

また、会議や雑談の中で他部署の方から今取り掛かっている仕事の状況を聞けるのはとても面白いです。

【総務グループ】

民間の総務系はお役所仕事と似ているイメージがあると思われがちで、私も当業務にあたるまではそう思っていました。実際はむしろ逆で、労働者の生活を守るために行政等を、ある時は活用し、ある時は対峙しなければなりません。労働者の人生の折々の局面に立ち会うことになる、コクの深い仕事です。

【人材育成グループ】

20歳前後から定年まで働いたとして、実に40年ほどの時間を会社や仕事のために費やすことになります。そんな人生の時間の多くを過ごす「会社」という場では、「環境」がとても重要です。社員が健康・安全に、そして幸せで働き続けられるような環境づくりのための提案をし、中心となって会社をつくっていけることや、デスクワークでありながらも単純作業やルーティーンワークの比率が少ないところが面白いです。



最後に、就活生の皆さんに向けてアドバイス、またはメッセージをお願いします！

・学生諸子の都合に柔軟に対応できるインターンシップや登録制アルバイトの制度を用意しています。工場勤務を希望される方に限らず、就労体験をしてみて、ご自身の目で見極めてください。

・学生と社会人では、社会への責任、時間の使い方、人付き合いなど、様々な面で大きく異なる点があるかと思います。金井大道具には、世代やキャリアも様々な先輩がいますので、たくさんの人と出会う場に恵まれると思います。先輩方からたくさんの教授を受け、社会人としての基礎力をぜひ金井大道具で習得してみたいかがでしょうか。

・私が金井大道具で仕事を続けてこられた、モチベーションが保てたのには、自分の好きな世界（業界）に携わっているということが理由としてあると思います。好きな物でも、好きな仕事でも何でも良いと思うので、自分は何が好きなのか考えてみるとよいかもしれません。

・好きなことを仕事にするのももちろんよいですが、私は与えられた仕事を好きになることもよいと思います。色々な会社、色々な仕事を見て、研究して、最終的に自分が誇りを持てるような仕事に就いてほしいと思います。是非、一緒に働きましょう！